

そうばんねんぶつ 双盤念仏ってなんだろう？

そうばんねんぶつ
双盤念仏は、この写真のように

だい
1台の「たいこ」と4台の「かね」をつか
を使って、

ほとけ
仏さまにおくるうた
唄のことです。

いろいろなリズムのきよく
曲がたくさんあり、

うた
唄のことばもむずかしいので

ぜんぶおぼえるのがとてもたいへんです。



むかし
昔はお寺のお坊さんがひとりで2枚の「かね」をつか
を使って両手で演奏していたので、

「ふたつ」という意味の「双」の字がついています。

てら
お寺からそうばんねんぶつ
のやり方をかた
教わったおそ
ひと
たちは「講」というチームをつくって

たたきかた
方や声の出しかた
し方など、ほかのこう
講とどちらがじょうず
にできるかをくらべていました。

せんそう
戦争のせいで、ほとんどのひと
たちはそうばんねんぶつ
をやめてしまいましたが、

いま
今泉延命寺は
いまでもえんそう
演奏をつづけている、とてもめずらしいこう
講のひとつです。

やぐち
矢口にす
住むみなさんだけでなく、おおた
く
とうきょうと
東
都
のみなでたすけあいながら

いつまでもだいじにしていきたいぶん
か
ざい
文化財です。ぜひおぼえておいてくださいね。